

「これからのみえづくり」に向けた高校生、大学生等意識調査結果（概要）

次代を担う若者の意識を把握し、「これからのみえづくり」の指針となる計画づくりにつなげるため、県内の高校生、大学生等を対象にした意識調査を実施しました。その概要は、次のとおりです。

○対象

県立学校および私立高校の卒業1年前の生徒（原則2クラス）（以下「高校生等」という。）
4,888人

県内14の高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）の卒業1年前の全ての学生（以下「大学生等」という。） 4,617人

○有効回答率 高校生等 98.9%、大学生等 75.6%

○調査期間 令和元（2019）年6月～7月

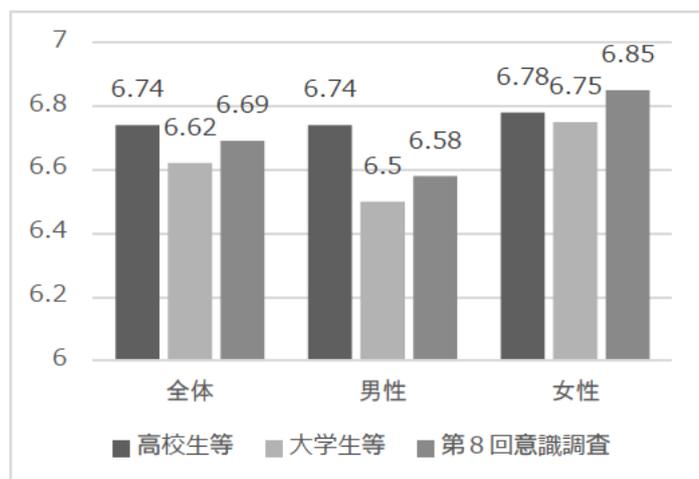
○質問項目

- ・ 幸福感について（Q1～Q3）
- ・ 政策の重要度について（Q4）
- ・ 新しい豊かさについて（Q5）
- ・ 協創について（Q6～Q8）
- ・ 三重県への思い（愛着、印象）について（Q9～Q10）
- ・ 若者の県内定着について（Q11～Q15）

○概要

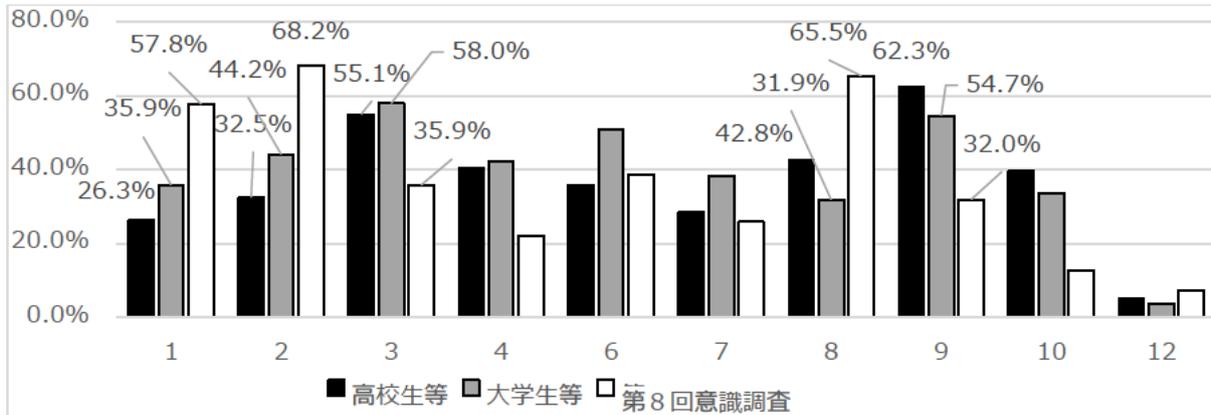
Q1：現在、あなたはどのくらい幸せですか。（10点満点）

高校生、大学生等に日ごろ感じている幸福感について、10点満点で質問したところ、高校生等の平均値が6.74点、大学生等の平均値は6.62点となりました。また、高校生、大学生等ともに、男性より女性の方が高く、第8回「みえ県民意識調査」（以下「意識調査」という。）と同じ傾向がみられました。



Q2：幸福感を判断する際に、重視した項目は何ですか。（複数回答）

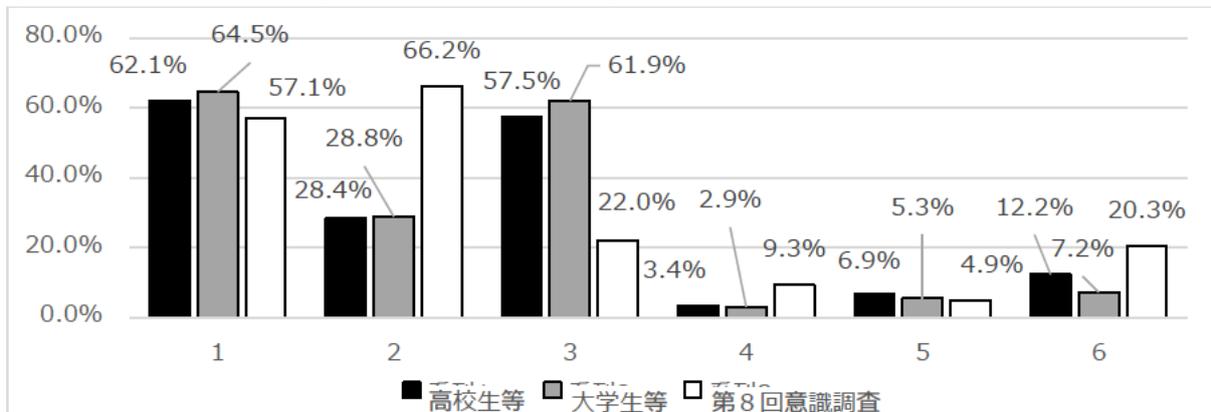
高校生、大学生等に幸福感を判断する際に重視した事項について質問したところ、高校生、大学生等ともに、「友人関係」や「自由な時間」と回答した割合が上位2項目を占めました。一方で、第8回意識調査では、「健康状況」や「家族関係」と回答した割合が上位2項目を占め、若者が重視した項目と異なることが明らかになりました。



1. 家計の状況（所得・消費）（高校生等：家庭の経済状況）
2. 健康状況
3. 自由な時間
4. 充実した余暇（高校生等：充実した休日）
5. 学業の充実度（第8回：仕事の充実度）
6. 精神的なゆとり
7. 趣味、社会貢献などの生きがい（高校生等：趣味や社会貢献活動）
8. 家族関係
9. 友人関係
10. 学校での人間関係（第8回：職場の人間関係）
11. 地域コミュニティとの関係（高校生等：学校外での人間関係）
12. 政治、行政
13. 就業状況（第8回のみ） ※5、11、13は集計上除外

Q3：あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。（複数回答）

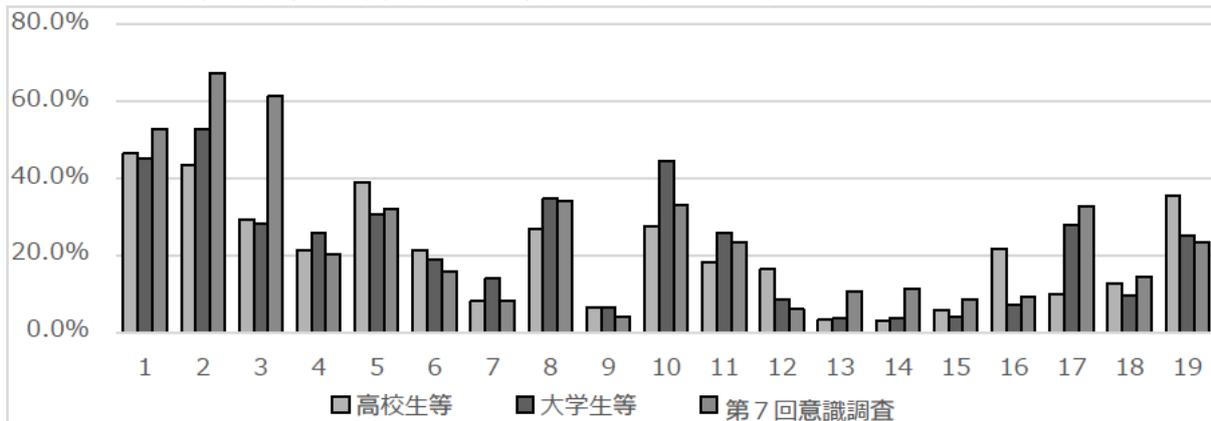
高校生、大学生等に幸福感を高める手立てについて質問したところ、高校生、大学生等ともに「自分自身の努力」と回答した割合が最も高くなり、次いで「友人や仲間との助け合い」となりました。一方で、第8回意識調査では、「家族との助け合い」、「自分自身の努力」と回答した割合が上位2項目を占めました。このことから、どの世代においても「自分自身の努力（自助）」に加えて、友人、仲間、家族など、「人と人との助け合い、つながり（共助）」が幸福感を高めるために有効な手立てであると考えていることが明らかになりました。



1. 自分自身の努力
2. 家族との助け合い
3. 友人や仲間との助け合い
4. 社会（地域住民、NPO等）の助け合い（高校生等：ご近所や地域の助け合い）
5. 学校からの支援（第8回：職場からの支援）
6. 国や地方の政府からの支援（高校生等：国や県、市町からの支援）

Q4：あなたは、次の政策分野について、どれが重要だと考えますか。（複数回答）
（高校生、大学生等と第7回意識調査 ※この問は、意識調査のうち第7回意識調査のみ実施）

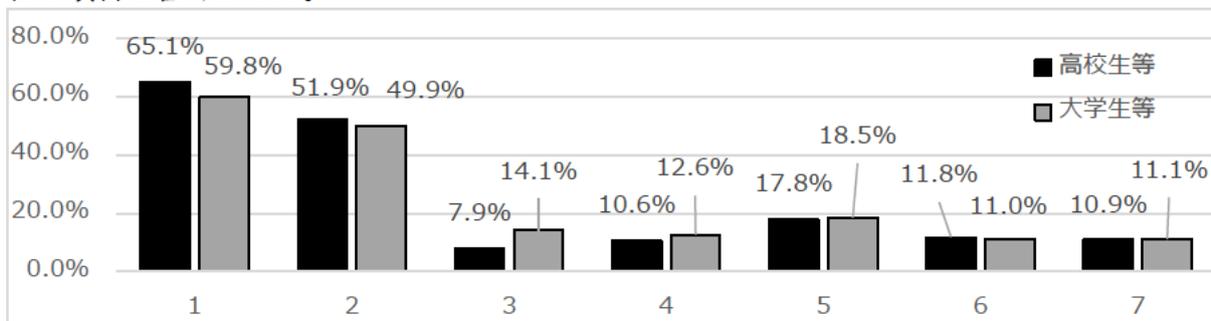
高校生、大学生等に重要だと考える政策分野について質問したところ、高校生等では「防災・減災」と回答した割合が最も高く、次いで「医療」、「防犯・交通安全」となり、大学生等では「医療」が最も高く、次いで「防災・減災」、「結婚・妊娠・出産・子育て支援」となりました。一方で、第7回意識調査では「医療」が最も高く、次いで「介護・高齢者福祉」、「防災・減災」となっています。このことから、どの世代においても、「防災・減災」、「医療」等、安全・安心に係る分野を重要であると考えていることが明らかになりました。



1. 防災・減災
2. 医療
3. 介護・高齢者福祉
4. 福祉（障がい者福祉・生活保護等）
5. 防犯・交通安全
6. 自然・環境保全
7. 人権尊重・ダイバーシティ社会の推進
8. 子どものための教育
9. 文化振興
10. 結婚・妊娠・出産・子育て支援
11. 児童虐待防止・社会的養護の推進・子どもの貧困対策
12. スポーツの推進
13. 中山間・過疎地域等の振興
14. 農林水産業の振興
15. 商工業の振興
16. 観光の振興
17. 雇用対策・働き方改革
18. 道路・港湾整備等のインフラ整備
19. 公共交通

Q5：将来どんな暮らしがしたいですか。（複数回答）（高校生等と大学生等）

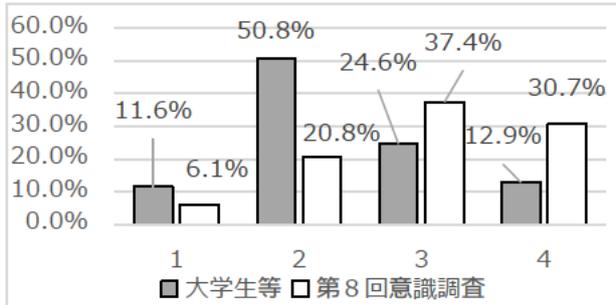
高校生、大学生等に将来どんな暮らしができる社会（三重県）が望ましいかについて質問したところ、高校生、大学生等ともに「不安を感じることなく、安心して暮らすことができる」、「自分に合った暮らし方・自分らしい生き方を選択できる」社会と回答した割合が、上位2項目を占めました。



1. 不安を感じることなく、安心して暮らすことができる
2. 自分に合った暮らし方・自分らしい生き方を選択できる
3. ライフステージに応じて多様な働き方ができる
4. より高い目標に向けてチャレンジができ、失敗しても何度でも挑戦できる
5. 家族の絆や地域のつながりを感じ、支えあって暮らすことができる
6. 地域に、愛着や誇りを感じながら暮らすことができる
7. さまざまな産業が発展する中で、いきいきと働くことができる

Q6：今までに、自治会やボランティア、サークル、団体などで行う地域活動に参加したことがありますか。(大学生等と第8回意識調査)

大学生等に自治会やボランティア、サークル、団体などで行う地域活動への参加について

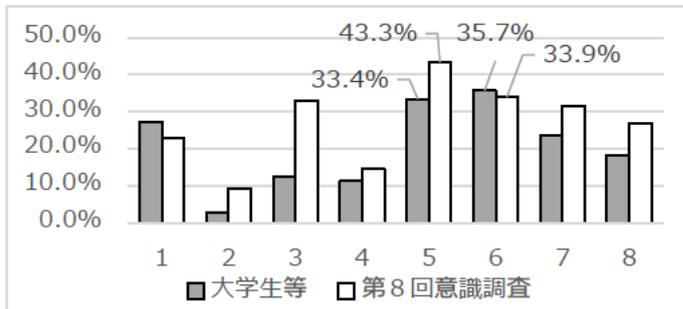


質問したところ、「参加した経験がある」と回答した割合が 50.8%と最も高くなりました。一方で、第8回意識調査では、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が 37.4%と最も高く、県民全体と比べ、大学生等の方が実際に参加した経験がある割合が高いことが明らかになりました。

1. ふだん参加している 2. 参加した経験がある 3. 参加したことはないが、機会があれば参加したい
4. 参加したことはなく、参加したいと思わない

Q7：あなたが参加した地域活動は何ですか。(大学生等と第8回意識調査)

自治会やボランティア、サークル、団体などで行う地域活動に「ふだん参加している」「参加した経験がある」と回答した大学生等に、参加した地域活動を質問したところ、「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」(35.7%)と回答した割合が最も高く、次いで「まちづくり、地域振興の活動」(33.4%)という結果になりました。

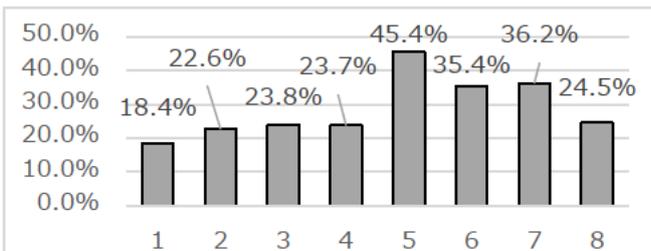


一方で、第8回意識調査では、「まちづくり、地域振興の活動」が最も高く(43.3%)、次いで「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」(33.9%)となっています。

1. 教育を助ける活動(学校支援ボランティアを含む) 2. 結婚支援や子育てを助ける活動 3. 防犯・防災・交通安全の活動 4. 要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動 5. まちづくり、地域振興の活動(祭りや地域の行事を含む) 6. 環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動 7. 運動・スポーツ活動(健康づくりのための活動を含む) 8. 文化芸術・趣味・娯楽活動(団体やサークルに所属する人たちの楽しみや研さんなどが目的の活動)

Q8：あなたが参加したい地域活動は何ですか。(高校生等)

自分の住んでいる地域のために「積極的に活動したい」、「どちらかといえば活動したい」と回答した高校生等に、参加したい地域活動を質問したところ、「まちづくり、地域振興の活動」(45.4%)が最も多く、次いで、「運動・スポーツ活動」(36.2%)という結果になりました。

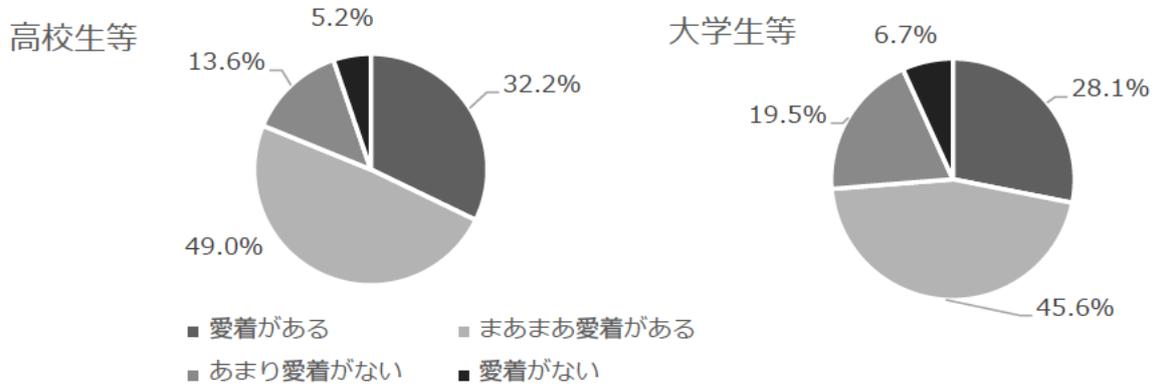


と回答した高校生等に、参加したい地域活動を質問したところ、「まちづくり、地域振興の活動」(45.4%)が最も多く、次いで、「運動・スポーツ活動」(36.2%)という結果になりました。

1. 教育を助ける活動 2. 子育てを助ける活動 3. 防犯・防災・交通安全の活動 4. 介護が必要なお年寄りや障がい者の方などを助ける活動 5. まちづくり、地域振興の活動(祭りや地域の行事を含む) 6. 環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動 7. 運動・スポーツ活動(健康づくりのための活動を含む) 8. 文化芸術・趣味・娯楽活動(団体やサークルに所属する人たちの楽しみや研さんなどが目的の活動)

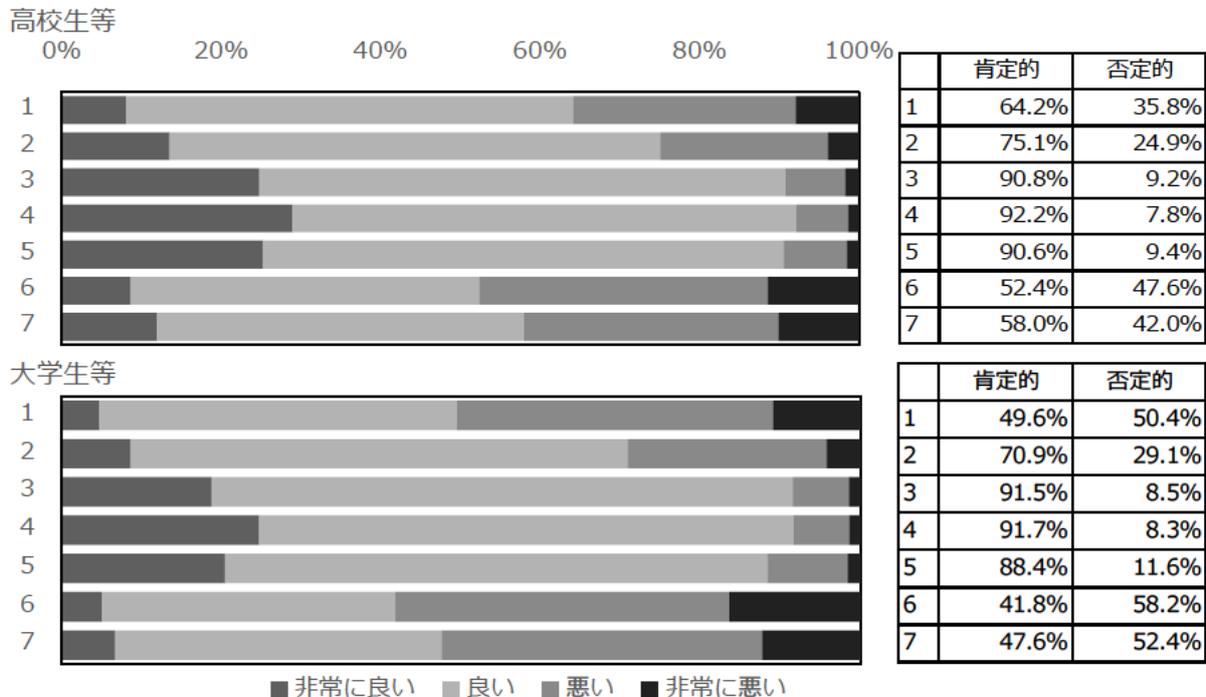
Q9：あなたは、三重県に愛着がありますか。（高校生等と大学生等）

高校生、大学生等に三重県への愛着について質問したところ、「愛着がある」「まあまあ愛着がある」と回答した割合を合わせると、高校生等では81.2%、大学生等では73.7%となりました。



Q10：あなたの三重県に対する印象を教えてください。（高校生等と大学生等）

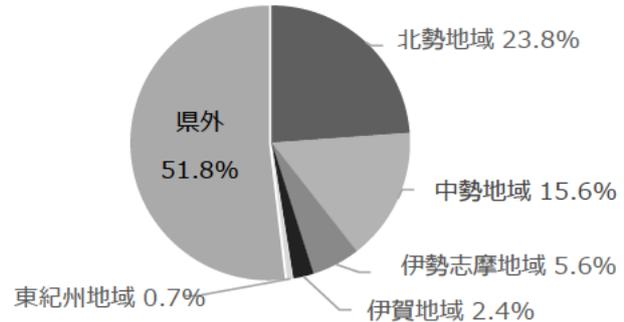
高校生、大学生等に三重県に対する印象を質問したところ、「非常に良い」「良い」と回答した割合を合わせると、高校生、大学生等ともに「食文化」、「人間関係」、「伝統文化」の順で、8割以上と高くなりました。一方で、「非常に悪い」、「悪い」と回答した割合を合わせると、高校生、大学生等ともに「都会的な施設やイベントなどの充実度」、「趣味や遊びに取り組める環境」、「交通面」の順で高くなりました。



1. 交通面（県内・県外へのアクセス） 2. 住環境（気候や店舗、公共施設の立地に伴う暮らしやすさ）
 3. 人間関係（今まで築いてきた人間関係） 4. 食文化（県内特有の食材、名物料理など）
 5. 伝統文化（県の歴史、文化（祭りや伝統工芸品など）） 6. 都会的な施設やイベントなどの充実度
 7. 趣味や遊びに取り組める環境

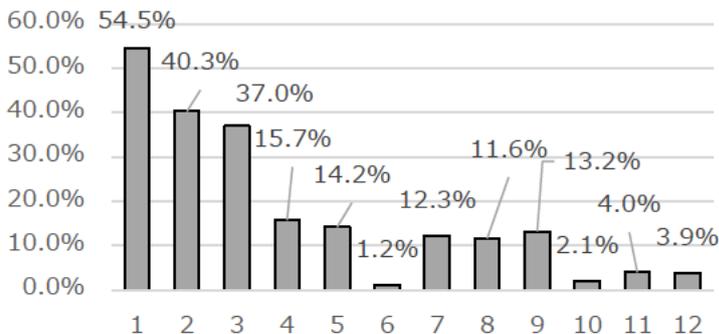
Q11: 将来進学または就職する際、どの地域で進学または就職を希望しますか。(高校生等)

高校生等に将来進学または就職する際、どちらの地域で進学または就職を希望するかを質問したところ、「県外」と回答した割合が51.8%と最も高く、「北勢地域」(23.8%)、「中勢地域」(15.6%)の順に高くなりました。



Q12: 選んだ地域へ進学または就職を希望する理由は何ですか。(高校生等)

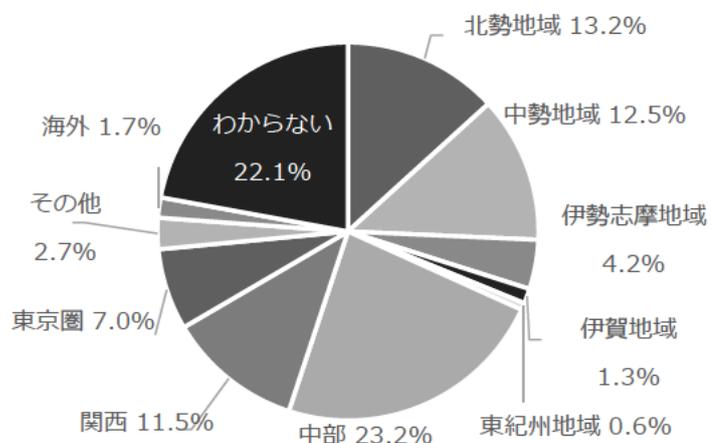
高校生等にQ11で回答した、進学または就職したい地域を希望する理由を質問したところ、「希望する進学先、就職先があるから」と回答した割合が54.5%と最も高く、次いで「買い物、通勤、進学など生活が便利だから」、「自分のやりたいことが実現できるから」の順で高くなりました。



1. 希望する進学先、就職先があるから
2. 買い物、通勤、進学など生活が便利だから
3. 自分のやりたいことが実現できるから
4. 都会での生活にあこがれがあるから
5. 魅力あるイベント、コンサート、レジャー施設が多いから
6. 周りの若い人たちが就職や進学で県外に出て戻ってこないから
7. 親と離れて住みたいから
8. 家族と暮らしたいから
9. 友人・知人がいるから
10. 近所や地域のつきあいがわずらわしいから
11. 地域に貢献したいから
12. その他

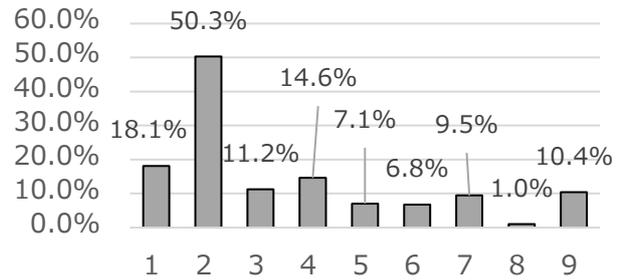
Q13: 将来就職する際、どの地域で就職を希望しますか。(大学生等)

大学生等に将来就職する際にどの地域で就職を希望するかを質問したところ、「中部」と回答した割合が23.2%で最も高く、次いで「わからない」(22.1%)という結果になりました。このことから、就職する地域について迷っている層に対して、アプローチをかけていくことが重要であると考えられます。



Q14：選んだ地域での就職を希望する理由は何ですか。（大学生等）

大学生等にQ13で回答した、就職したい地域を希望する理由を質問したところ、「地元(出身地)の企業に就職したいから」が50.3%と最も高く、次いで「就職したい企業があるから」(18.1%)、「自分の能力・知識・資格を活かせる機会が多いから」(14.6%)という結果になりました。



- 1. 就職したい企業があるから
- 2. 地元(出身地)の企業に就職したいから
- 3. 大手企業に就職したいから
- 4. 自分の能力・知識・資格を活かせる機会が多いから
- 5. 選んだ地域の企業の情報が多いから
- 6. 待遇や福利厚生が良い企業が多いから
- 7. 地域に貢献したいから
- 8. 家業を継ぎたいから
- 9. その他

Q15：三重県にもっと多くの若い人が住んでもらうためには、何が必要と思いますか。（自由意見）（高校生等のみ）

・回答者数：約2,800人。

・都会的な施設やイベント等の充実

都会的な施設やイベント等の充実度についての意見が約半数を占めました。

具体的には、「オシャレなカフェ」、「大きな商業施設」、「レジャースポット」、「Jリーグに利用できるサッカー場」、「ライブのできるドーム」等の建物を増やしてほしい、「三重県全体を巻き込むイベントを開催してほしい」、「イベントの回数を増やしてほしい」などの意見が挙げられました。

・公共交通、道路インフラ

「県外との移動を便利にしてほしい」、「電車やバスの本数を増やしてほしい」などが多数挙げられました。このほか「終電の時間が早い」、「交通費を安くしてほしい」、「公共交通機関(新幹線、リニア、空港、鉄道)を整備してほしい」、「全ての駅でICカードを使えるようにしてほしい」、「市街地以外の道路を整備してほしい」、「車の渋滞の緩和をしてほしい」などの意見も挙げられました。

・教育

「大学、専門学校を創ってほしい」、「勉強する場を整備してほしい」、「保育所をつくってほしい」、「子どもが遊べるような公園をつくってほしい」などの意見が挙げられました。

・広報

「もっと三重のいいところをアピールしてほしい」、「インスタ映えを増やす」などの意見が多く挙げられました。また、宣伝方法としては、ラジオ、TV、ポスター、動画、インターネット広告、CM、アニメ、漫画、SNS(Twitter、Instagram)などの意見が挙げられました。

・その他

「今のままでいい」という意見も挙げられるなど、現状に満足している回答もみられました。